

太田生涯学習報

はばたき

■発行 秋田県大仙市教育委員会 太田分室
〒019-1692 秋田県大仙市太田町太田字新田田尻3番地4
TEL 0187-88-2872・FAX 0187-88-1603
太田分室・太田公民館・生涯学習班・スポーツ振興班・給食センター

目次 表紙・・・・・・・・時は流れても

スポーツ振興・スキー大会・・・・・・・・2ページ
 親子読書・新刊案内・・・・・・・・3ページ
 町史編さんだより・・・・・・・・4・5ページ
 情報アラカルト・輝人さん・・・・・・・・6ページ
 俳句・短歌紹介・輝人さん・・・・・・・・7ページ
 教育随想・太田の子育て・・・・・・・・8ページ

(題字：鈴木正吾さん・南今泉)



紙風船づくり (公民館少年教室 2/18)



学習グループリーダー研修会(2/21)
講師・北教育事務所主任社教主事 皆川先生



家庭教育学級 (ひがし幼稚園 2/24)

時は流れても

～ 大切なものは ～

最近、社会教育行政や公民館活動を取りまく状況が大きく変化していることに驚きます。以前は「10年、ひと昔」と言っていましたが、最近では、「5年、ひと昔」、さらに現在、流行っている「IT (情報技術) においては、「1年、ひと昔。半年、ひと昔」という、とても速い時間の移り変わりで、時代がどんどん変わっているのです。

しかし、じっくりと腰をすえて見渡してみると、「時代の流れと共に、変えなければならないこと」そして、「時代が変わっても、変えてはならないこと」の二つがあることに気付かされます。

残していかなければならないもの、それは、伝統を守り続けることであったり、人の心であったり、地域の人々との心のふれ合いであったりとさまざまです。時は流れても、太田の生涯学習活動が、人と人の交流を大切にした、地域づくりの核であることを再認識し、知恵と汗を振り絞り前進していきたいと思えます。

参加者の笑顔に成果

大成功のマスターズ大会

東北マスターズスキー

大台大会を開催して

東北マスターズスキー大台大会が初めて大台スキー場で開催されました。

2月24日の開会式の日、トリノオリンピックで荒川静香選手がフィギュアスケートで金メダルに輝き、日本中が喜びに沸いた日でありました。自然とマスターズ大会へも追い風となり、開会式後の交流会へは東今泉八幡太鼓の熱演も加わって盛り上がったものとなりました。

25日の第一戦は、天気快晴、コースも硬く絞まり絶好のコンディションのなか80人の選



合わせて128歳の佐藤夫妻 (福島県)

手は、眼下に広がる仙北平野に向かつて年齢を感じさせない滑りで一気に滑降してゆき、コースの魅力にひかれ第二戦を新たに申し込む選手も出るほどでした。

26日の第二戦は、風が強くなり気温も上がって雨の心配もありましたが、競技役員の方々は早朝から風で外れたネットの補修やコースを硬める作業に頑張ってくれました。役員の方々の必至の努力で予定どおりに競技を開始することができ、心配されたコースも緩まらずに最後まで保つことができました。

参加した選手が残した「来年は友達も連れて参加したい」と言ってくれた言葉が、私達には何よりも励みになるものでした。

また、大会期間中に岩手県で全日本指導員検定会が行なわれ、太田町スキー連

盟から5人が受験し全員合格の連絡が入り、喜びの重なった三日間となりました。競技役員皆様の献身的な御



79歳の加藤さんの勇姿

協力に心から感謝を申し上げて大会報告とします。【太田町スキー連盟会長高橋幸晴】

私と

マスターズスキー

加藤春作さん(横手市)

1926年生まれ

60歳以上が最高齢部門だった全県オールドパワースキー大会(森吉スキー場)では、その優勝者到大カップが授与されるので、それを目標に挑戦し続けました。甲斐あって念願の優勝を果たし、カップを手中にした感激が甦ります。

平成六年、私は旭川で開催された全日本マスターズ大会の65歳以上の部に出場しましたが、当時、最高齢部門に出場した東京の山田さんという

84歳の方が「二十一世紀に90歳で世界大会に出るのが夢」と話しておられたのに感服しました。お達者で目標を達成されただろうか。

競技スキーでは、コースが良く整備され危険度も少なく滑走出来るのも魅力です。スタート台で発信音を聞き、前方の赤・青のポールに突っ込んでいく緊張感はたとえようもありません。斜面がアイスバーンの時は、恐怖を感じながらも無我夢中、無転倒でゴールした瞬間は、安堵の胸をなで下ろし満足感を覚えます。

十分な練習もせず、勝敗にこだわることもなく、何歳まで出場できるか自分との闘いでもあります。来年はいよいよ八〇歳以上の部、さらに八

十五歳を目標に怪我をしないよう、無理せず、マイペースで出場出来ることを心がけたい。

知り合った仲間たちと会場でお互い元気な姿を確かめ合い、交流を持てるのは幸せです。マスターズスキー万歳！

優勝は横沢支部

総体終わる

14の部門で競い合った平成17年度の体育協会主催の総合体育大会が、町スキー大会で終了しました。その成績をお知らせします。

- 【優勝】横沢支部【準優勝】下堰支部【第3位】三本扇支部
- ④ 齊内支部、⑤ 上堰支部、⑥ 駒場支部、⑦ 太田支部、⑧ 東今泉新田支部、⑨ 小神成支部、⑩ 新興大町支部、⑪ 中里支部、⑫ 永代川口支部。

前半は町運動会、野球、バレーボールなどで得点を重ねた齊内支部がトップでしたが、Gゴルフやスキーで活躍した横沢支部が、昨年の3位から逆転優勝しました。

親子読書 ④

ぼくの本だーりすぎ

「目の見えない犬ダン」

を読んで

太田北小学校四年

伊藤 貴



ぼくの顔

「もうどう犬は人を助けてくれるのに、目の見えない犬は、どうしてすてられるの？」

この本は目の見えない犬「ダン」が紙しばいのお話になったり、目が見えなくても小鳥（はと）と友だちになったりするお話です。

ぼくが「ダン」のお話で一番心にのこったことは、小鳥（はと）と友だちになった所で、ダンが目が見えないので、ほかの犬といっしょに遊んだり、走ったりすることができ



ダンがハトとひなたぼっこしているところ
..... 貴さんの読書感想画

なくてかわいそうです。よくなってよかったです。目が見えなくてもみんながやさしくおせわをして、ダンが長生きできてよかったです。ぼくも生き物を大切にしたいです。

この本は、目の見えない子犬を救うために頑張った子供達と自治会長さん達のノンフィクションのお話で、皆の

(母) 葉子



(著者) 大西伝一郎
(発行) 学研

A5判103ページ

優しさにとっても感動しました。「ダン」と坂本さんや子供達は、まるで「家族」のようでした。皆の「優しさ」がダンを元気にし、ダンのがんばりが皆に「喜び」を与えてくれる。「家族のために」という思い、私達と同じ家族の絆がそこにはあると思います。子供達は「読み聞かせ」などの機会があるおかげで、このような素晴らしい本と出会うことができ、その本を通して子供と一緒に貴重な時間を過ごせることはとてもありがたい事であり、うれしいことです。お力を頂いている皆さんに感謝し、今後も子供達に色々な機会を通して素晴らしい体験をしていってほしいと思います。

太田図書館の新刊

12/1~1/10 購入分

- 子どもの心 二木克明
- さくら 西 加奈子
- 生きる意味 上田紀行
- ルポ戦争協力拒否 吉田敏浩
- 鍼灸の挑戦／自然治癒力を生かす 松田博公
- やがて幸福の糧になる 柳澤桂子
- 花まんま 朱川湊人
- 土の中の子供 中村文則
- 憲法と日本のあゆみ 伊藤光一
- シンドバッドの冒険 齊藤 洋
- アラジンと魔法のランプ 齊藤 洋
- アリ・ババと四十人の盗賊 齊藤 洋
- 空飛ぶ木馬 齊藤 洋
- 1分で読める江戸の笑い話 加納一朗
- 3分で読める江戸の笑い話 加納一朗
- 1分で読める江戸のこわい話 加納一朗

■ 3分で読める江戸のこわい話 加納一朗

■ 伝統を作る①②④ 白石和己

■ 市川染五郎の歌舞伎 小野幸恵

■ 星の地図館 小学館

今、図書館では!

県内出身小説家作品展

太田図書館では、企画第3弾として秋田県と関係の深い小説家12名の作品を紹介しています。

太田町出身の花家圭太郎(はなやけいたろう)時代小説も展示してしています。この機会に郷土作家にふれてみてはいかがでしょう。ぜひご利用ください。



どの作品も個性たっぷり

町史編さんだより

水稻の品種をたどる

資料に残る太田の稲作①

今年もいよいよ本格的な農作業が始まります。太田の農業は開発と稲作の歴史です。原野を起こし、川や清水あるいは堤を造って水を引き水田にしました。その稲作の手始めが種子の確保です。

今回は、太田町史の農業編の執筆担当の進藤健さん（北川口・県農業試験場勤務）の情報をもとに、資料に残る稲の品種をたどってみます。

飢きんのとき

稲の生育は天候に大きく影響を受け、不作や飢きんのほとんどが気象災害に関係しています。

江戸時代の天明、天保の飢きんも天候不順が原因です。これは「巳年のケガジ」とも言われる飢きんで、なぜか巳年を中心に前後二、三年の間には不作が集中していました。

特に、天保元年から七年（一八三〇～三六）まで続いた天保の大飢きんは、この地域にも大きな被害をもたらしています。その悲惨な状況が高橋久四郎家（下今泉）資料に残されています。その中の「覚書（天保三年・一八三二）」には、次のような部分があります。

「・・・取分け大神成・小神成・太田・今泉・永代・川口・黒沢は特に悪し。その中でも大神成・太田村の内惣

行・真木、永代などはなお悪し。・・・

良き稲はしなり早稲・南部小吉・どんこ早稲。悪い稲は丑ぶこ・庄内早稲、その中でも庄内は國中すべて皆無。しかば私らは一円に庄内を植え、誠に大負け致し候。「百姓は百品植えるべし」と言うは、古人の言葉なり。よくよく心得るべき事なり」

（口語訳）

ここには、災害時に備えて農作物の作付けは、かたよらずに、多品種を植えて危険を分散するようという教訓が込められています。

明治時代には

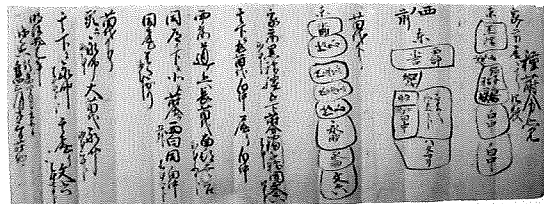
小曾野の高橋伝兵衛家資料の中に、明治十一年（一八七八）の「種時分覧」があります。

この年の伝兵衛家の苗代には11種類もの種子が準備されています。前述の

高橋久四郎が述べた教訓が生かされているものとなっています。

その品種は、黒糯・鍋子糯・文六・白中・南部小吉・西白・ハタカリ・永助・伝左衛門・佐藤右衛門・伝左衛門です。

これらの品種は、名前に特長をあらわしているもの、品種を確立した地域



伝兵衛家の明治11年の苗代計画

や人物の名を付けたものに分かれますが、伝左衛門、伝兵衛家の先祖の名であることから、代々自分の家で選抜してきたものもありそうです。

役所が介入するように仙北郡役所が明治三六年（一九〇三）に、横沢村を調査した記録に次のような記述があります。

「・・・当村において栽培する種類の中で最も多いのは善五郎。その次が名古屋白、五郎兵衛、最上早稲などである。また庄内早稲、短穂、両国、高寺、宇兵衛なども少しならず」



保温折衷苗代の種まき（昭和30年代・新田）

25年の間に、この地域では伝兵衛家で栽培されていた品種は、新しいものに取って代わったのか見当たりません。

ただし、天保の飢きんの際に作付けされていた庄内早稲は、その70年後にも栽培されていたことで優れた品種であったことがわかります。

いずれにしても、多収を目指す農民にとつての最大関心事は、良い品種を見つけて栽培することだったに違いありません。

品種の奨励

品種を農家が選ぶことは、前年の作況による部分が多かったわけですが、

情報アラカルト

今年も卒業バイキング給食

2月24日(金)太田文化プラザを会場に太田中卒業お祝いバイキング給食が行われました。卒業を迎える児童・生徒にお祝い給食を楽しんでもらおうとするもので、給食センターの開設から毎年行ってきており今年で7回目となりました。3小学校では学校給食センターを会場に行われています。

いつもの給食配膳と違い自分の好きなものを選んで食べられるとあって、待ち望んでいた3年生も多く、お腹いっぱい食べ満足。

また、卒業すれば給食はもう食べられないと、ちょっぴり寂しげにも話していました。

【バイキング料理のメニュー】

主食(鮭ごはん・揚げパン・ピザなど7種)

主菜(から揚げ・リブフランクなど5種)

副菜(キャベツのピタパン包み・飾り野菜4種類)

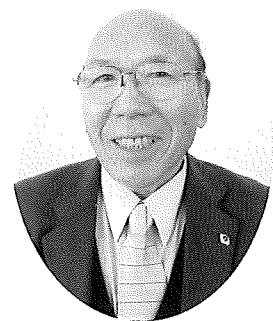
汁物(ポタージュ) 飲み物(牛乳・ジュースなど5種類)

カップデザート(2種類) くだもの(4種類)

栄養士さんの説明でバランス良く料理を選んで給食を楽しみました。



花を趣味にして



たかはし たけお
高橋 武男さん
(下小曾野)

☆わが町の「輝人」さん☆

若い頃から花は好きでしたが、稲作と出稼ぎのため思うようにできず、本格的に花作りを始めたのは、農業経営を息子にまかせてからです。

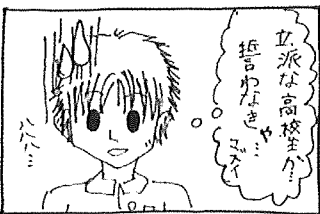
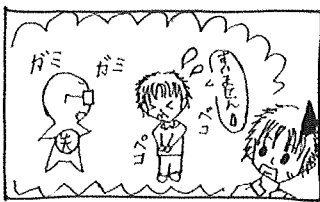
そして、今から十年前に太田花の会が結成されたのをきっかけに、私も会員に加えてもらい花の勉強をしています。

プランターが普及しコンクリートの上でも花壇が作れるし、花の会がモミ殻の培土作りを普及して下さったおかげで、私たち高齢者でも花壇作りを楽しみむことができずいぶん便利になりました。

また、私はベゴニアが大好きなので、二月の種まきから始めて、その苗を友だちにわけたりしています。昨年は町老人クラブ連合会の皆さんの力を結集して、真木苑前をベゴニアのプランターで花を咲かせることができました。今年もまたきれいなプランターを並べたいと思っています。

まなぼろ〜 林立ちの門出〜

作: 太田中学校 1年 高野由記 本多真生 ①



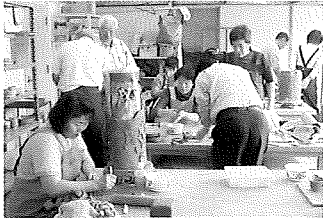
来年度も実施家庭教育学級
今年度、最後の家庭教育学級がひがし幼稚園で2月24日に行われました。家庭教育学級は、急速に成長する子どもの変化に驚き、とまどう保護者の不安を取り除く手助けとしつけについて考える機会とするため、二つの幼稚園を会場に、それぞれ年4回開いています。

内容は、講演会や教育相談などから、読み聞かせや親子体操など、親子で楽しめるものまで幅広く、保護者のニーズ(要求)により近いものを考えています。
この学級は来年度も幼稚園を会場に行う予定です。詳しくは、公民館までお問い合わせください。
(八八一二二一九)



臨床心理士の石山先生の講話に耳をかたむける
(みなみ幼稚園)

サークル・さあくる



陶芸同好会(陶芸教室)

会長 後藤 光三さん
指導 佐々木金治先生
(私田篤主宰)

定例会 毎月1回

場所 太田公民館

陶芸には伝統の中にも自分のオリジナル作品を焼き上げる楽しさがあります。お気軽に参加してください。

No.262 ミニ展示コーナー



たにくちふじみ
谷口藤美書道展

会場 太田文化プラザ
会期 平成18年4月30日まで
今年になってからの作品8点を展示。

太田俳句教室

二月習作選



風邪ぎみの夜の楽しみ卵酒

惣行 高橋 良子

手造の一对のひな下駄箱に

上川原 進藤 順子

留守居して一人に余る置ごたつ

上中里 大畑 幾子

お手玉や針に糸さす雪明り

下今泉 高橋 光

遠会积雪の壁間をよぎりけり

大町 藤原 成雄

戸を開けてひと晩の雪確める

上中里 藤原八重子

チューリップ佛間に供へ孫偲ぶ

毘沙門 野中 龍雄

上弦を引き絞りたる寒の月

北今泉 大信田俊郎

心豊かに

野路歌会

一月詠草会



凜とする朝の空気を吸いながら

吾は傘寿の若水を汲む

北川口 進藤美津子

雪被ぎ黄色濃くせるつばみ菜を

手折ればふつと春の香のする

南小神成 鈴木 アイ

乳白のうすいカーテン引くように

雪の降りゆく山を見詰める

新田 鈴木 貞子

リフトより見おろす傾りにカモシカの

足跡続く雪深き中

新田 高橋千恵子

「キユツキユツ」と新雪を踏む靴底に

年の初めのいい予感する

相野 高橋千世子

雪の事故テレビに見つつ夕暮れて

スキー場の灯り今日もきらめく

金井伝 高橋 艶子

挑戦を始めんとして積もりたる

屋根の白魔の上に立ちたり

北小神成 新田平八郎

初詣で雲間に出でて拝みたり

老いたる我が年の正月

毘沙門 野中 孝雄

☆わが町の「^{きじん}輝人」さん☆

Vol. 11

いろりの会に参加して



さとう 佐藤 たづこ 鶴子さん (北小神成)

この会のきっかけは、町史編さん室の「いろりを囲み」の本を、皆さんから音で聴いてもらえたらと、カセットへの吹き込みのお手伝いから始まったボランティアです。

現在の主な活動は、毎月、東小学校での本の読み聞かせや、第四土曜日は敬愛館で「どんぐり文庫」を開いております。

子供たちに遊びの場を提供できたらいいなあとということ、クリスマスパーティーや地域の皆さんに呼びかけた催しや公民館行事へも協賛しながら参加しております。

当初は六人で始めましたが、今では十二人に仲間が増えました。誰かにしてあげるボランティアではなく、自分たちが楽しみながら気持ちに負担のかけられない活動をモットーにしております。私自身も、形にとらわれずに読み聞かせが長続きできる活動をして行きたいと思っています。

予算はなくても手作りで



太田東小学校長
高橋英男

若い頃太田中学校に9年、最後の3年を太田東小学校にと計12年間、教職生活三分の一を太田町に勤務させていただいた。ふり返ると汗顔の至りである。それでも太田東小に来たら、太田中時代の生徒たちから、保護者としてすべての面で協力を惜しまず支援していただいた。昨年度、太田東小は百三十周年を迎えたが予算は無し。保護者と共に

何かをしようということアンケートをとってみたら、様々な行事や事業の提案の中に「予算はなくても手作りで、子どもたちの心に残る年にしたいたい」という思いを寄せてくださった方がいた。

P T A役員と話し合い、アイデアを凝らした記念行事と記念誌や百三十年目の学校と全児童の姿を残すDVDも作製することが出来た。P T A専門部の方々の企画・推進、記念誌では印刷会社に勤務している方、DVDではその仕事に従事している方を中心に、文字通り手作りで、子どもたちの心に残る年にすることが出来た。

「財政難」ということがよく取り沙汰される。先立つものが無ければとも言えるが、予算はなくても手作

りで出来ることはたくさんある。よく、お金と物を与えておくだけの子育てが問題視されることがある。「財政難」の言葉に惑わされしないで、お金や物に頼らず、アイデアを集め、工夫を凝らし、手作りで子どもたちの心に残ることを、家庭・学校・地域が一体になって取り組んでいきたいものである。

編集後記

市町村合併と共に産声をあげた太田生涯学習報「はばたき」も第5号をもって今年度の最終号となりました。合併の慌ただしさと、例年になく大雪対策と格闘しながらどうにか5号まで発行することが出来ました。地域で活躍されている方や、地域のさ

まざまな活動・行事を記録にとどめようと取り上げてきました。それぞれ掲載に当たっては皆様がどうかのご協力を賜りありがとうございました。

平成18年度も引き続き太田地域の皆様の生涯学習の情報源として役立てるよう、情報をキャッチするアンテナを張り巡らしながらキラリと光る情報を掲載して参ります。

大雪も雨や春の日差しにだいぶ消えて参りました。各学校では卒業式がたけなわです。多くの卒業生の未来にむけた熱い新たな決意が、吹き付ける雪をも溶かし、まわりの人々の心も揺り動かし、新たな希望へと向かわせております。生涯学習報「はばたき」もそんな

風を確実にとらえて、さらに大きく羽ばたいて参ります。
(藤原記)

《編集委員》

- 藤原 修
- 大信田 英夫
- 草薨 稔
- 佐藤 朗
- 細川 良隆

太田の子育て No.108

“まず一緒に遊ぼう”

落ち着きのない子

どこにも、いわゆる「落ち着きのない子」がいるものだ。10分と座っていれず、隣近所にイタズラ。注意するとすぐやめるが、またケロッとしてふざげたりする。半年前、父親に連れてこられたA君も、そんな多動の子供であった。

■知恵遅れではない

A君は、簡単で間違えるはずのない問題を誤ったり、相手の話を正確に聞き取れない場面もあったが、半面、カンの鋭さや年齢以上の課題を解決する能力も認められるなど、知能に原因はなかった。

☆しかっただけでは直らない

担任の先生はA君が、あんまり言うことが聞かないので、厳しくしかったりしたこともあるそうだ。しかし、しかればしかるほど動きは激しくなっていたらしい。

■遊んであげよう

先生は「しかっても、どうにもならないことがわかって、休み時間、A君と遊ぶようにしました」と。しかられてばかりいたA君が、先生に目をキラキラさせてお話をするようになったのは、それからである。「センセ、キノウ、アノナ…」と。

おもちゃだけでなく、子供の話を聞いてあげることも、実は立派な遊びの役割を果たしているのである。ひざの上に座って、あるいは抱き上げられてニコニコ笑うA君を、担任の先生は「かわいい」とつくづく感ずるようになったという。

■心を探る

幼児を持つお母さん方から、指しゃぶりの相談を受けることがある。注意してもやめないで、指先にトウガラシを塗る・・・表面に現われた問題を、あわてて取り除こうという策だ。

なぜ指をしゃぶるのか？なぜ落ち着きを失っているのか？心の底に潜むものを、ゆっくりと時間をかけてほぐすことが大切ではなかろうか。

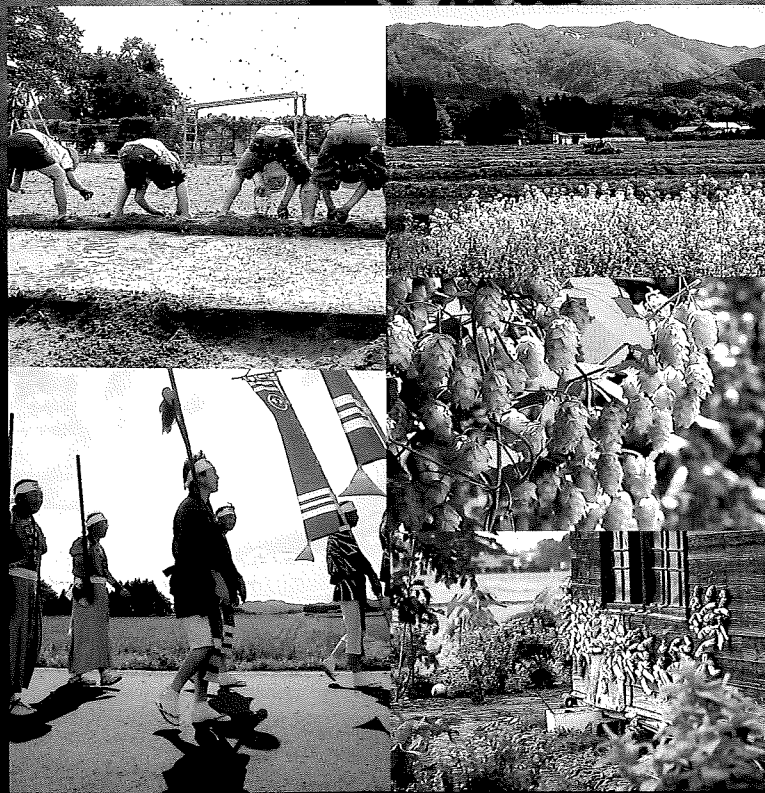
動き回るA君を、かわいいと感じたその時から、担任の先生の気持ちは軽くなり、A君もまた安定感が見られるようになってきたのである。

「2005年の太田」写真展

未来に伝えたい「今」がある

日時：3月**18**日(土)・**19**日(日)

会場：太田文化プラザ
(みんなで創る学びの集い会場)



町史編さんのひとつとして太田の今の姿を記録する写真集「2005年の太田」の編集を進めています。撮っていただいた方、写っていただいた方、情報をいただいた方…多くのご協力をいただきました。寄せられた写真をご覧ください。写真展を開催します。

お問い合わせ

大仙市教育委員会 太田分室 生涯学習班

〒019-1692 大仙市太田町太田字新田田尻3-4 ☎0187-88-2881

